

日本BS放送株式会社

2024年8月期 第2四半期決算説明会

2024年4月17日

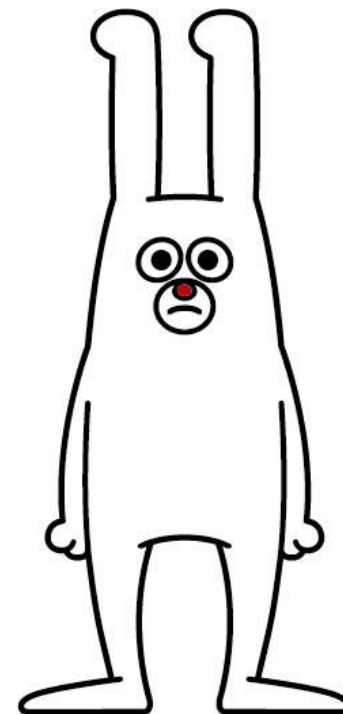


証券コード: 9414

信頼できるメディアを目指す

Value3の推進

市場との対話を強化



I	会社の基本情報	P3
II	2024年8月期 第2四半期業績	P15
III	2024年8月期 計画(連結・個別)	P23
IV	基本戦略	P26
V	株主還元	P38

I	会社の基本情報	P3
II	2024年8月期 第2四半期業績	P15
III	2024年8月期 計画(連結・個別)	P23
IV	基本戦略	P26
V	株主還元	P38

2022年に開局15周年を迎えた、全国無料のBSテレビ局です。

会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11” チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9千万円（2024年2月29日現在）
従業員数	133名（連結）（2023年8月31日現在）





当社の経営理念には、パーパスの意義も含んでおります。

<経営理念>

質の高い情報を提供することで
人々に感動を与え
幸せな社会づくりに貢献します。

<経営ビジョン>

豊かで 癒される 教養・娯楽番組と
中立公正な 報道・情報番組を発信し
『価値ある時間』 を約束します。

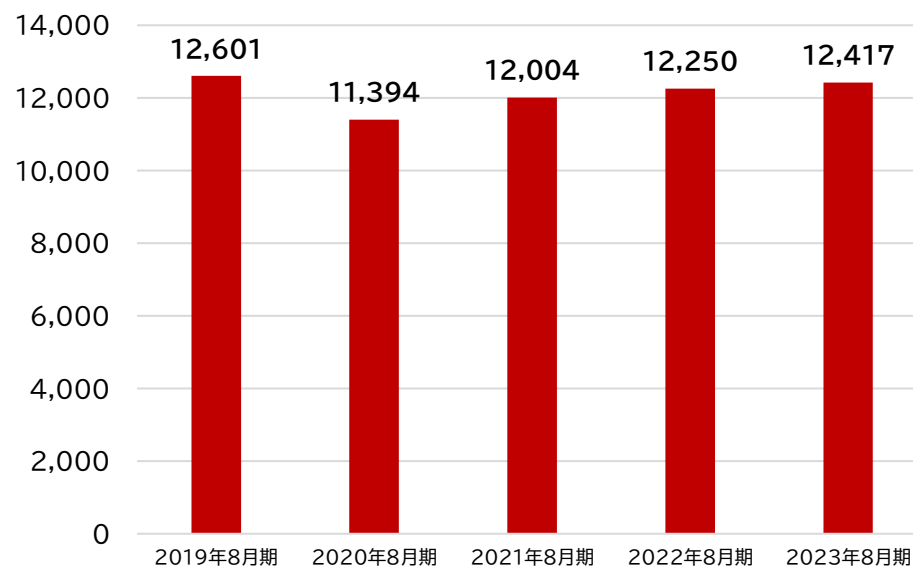
<行動指針>

- ・ 公共的使命を認識し社会の信頼に応えます。
- ・ 良質なコンテンツの創造を追求します。
- ・ 常に新しい可能性に挑戦します。

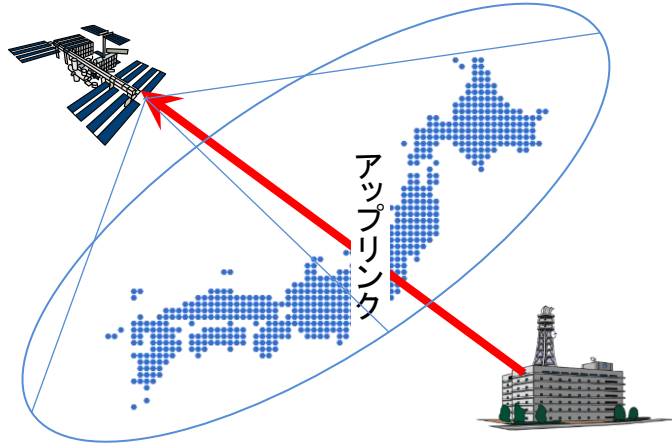
17年の歴史と共に、事業拡大してまいりました。

沿革	
1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送(BS11)開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム(J:COM)において再送信開始
2011年10月	接触率調査(BSパワー調査)に参加
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所スタンダード市場へ移行

連結売上高(単位:百万円)

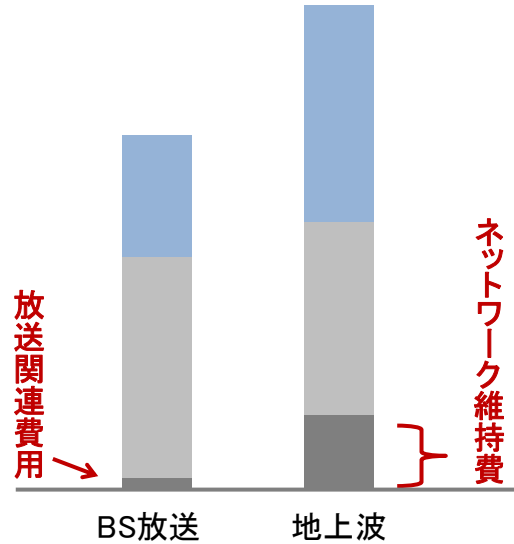


無料BS放送

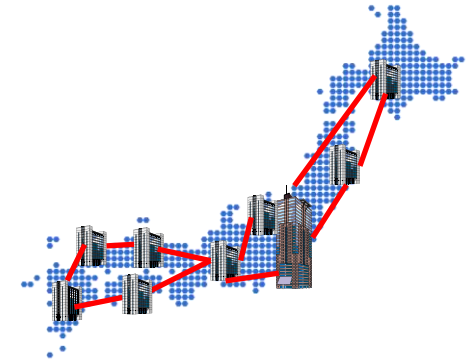


- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要

コスト構造の比較



キー局系列の地上波放送



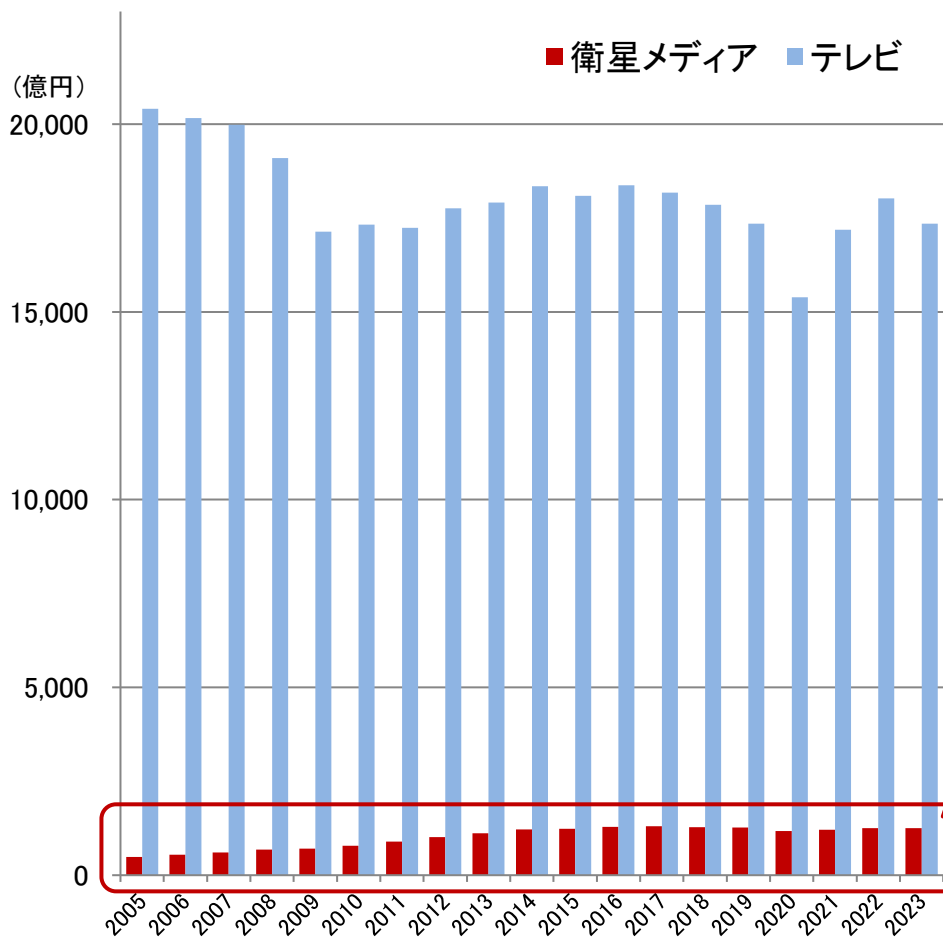
- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

全国無料BS放送局

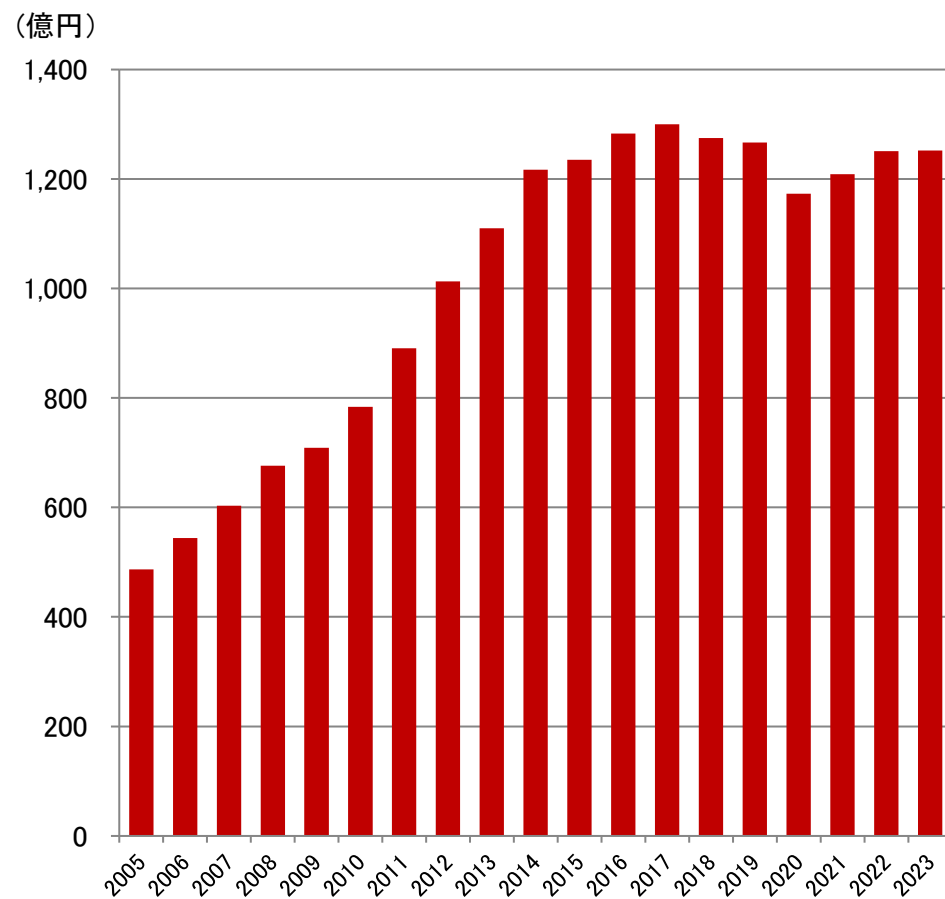
グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	ジャパネット	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS11	BS12	BS松竹東急	BSJapanext	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系				公共	
開局年月	2000年12月					2007年12月		2022年3月		2011年11月	
グループ	“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、 共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた 取り組みを実施。										

2020年のコロナ禍を経て2021年以降は回復傾向

媒体別広告費



衛星メディア広告費



(出所) 電通「2023年 日本の広告費」 ※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

BS11の特長

- ①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！
- ②『**ドラマ**』・『**アニメ**』・『**競馬**』など多岐にわたるラインナップ編成により、**幅広い年齢層の視聴者層**が存在！
- ③家電量販店**ビックカメラ**を親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、**消費者へのダイレクトなコンタクトポイント**が持てる企画が可能！

理論社・国土社との取組

グループ会社となっている（株）理論社・（株）国土社と協業し、映像コンテンツを制作、放送や配信を積極的に実施。



株式会社理論社

1947年創業

書籍・雑誌等の編集、制作、出版及び販売



株式会社国土社

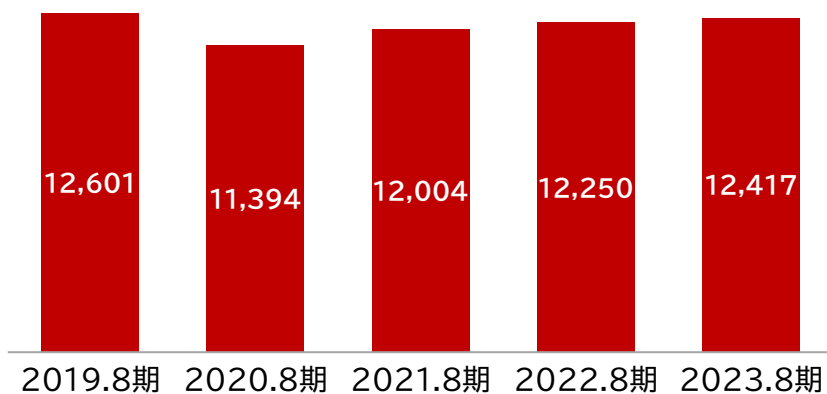
1937年創業

主に児童図書・教育図書の刊行

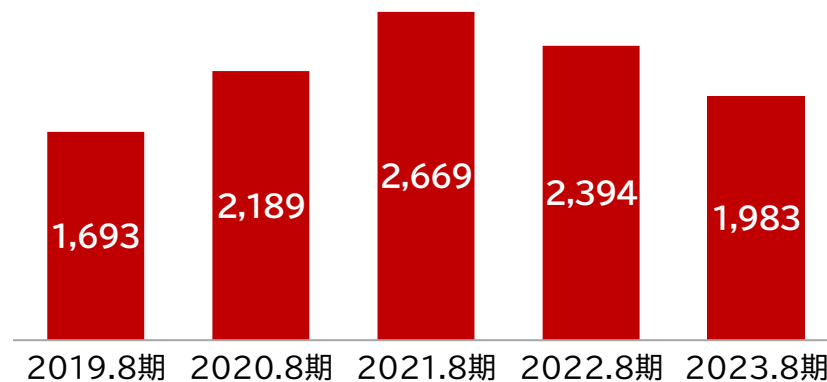
協業制作コンテンツ例



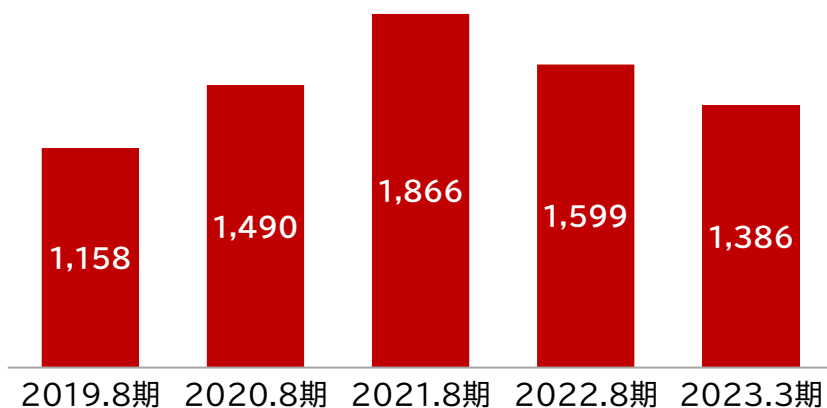
売上高(百万円)



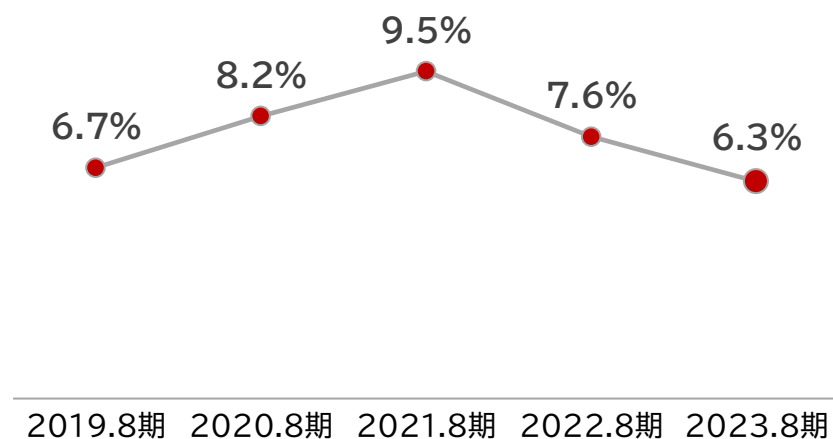
営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



ROE(%)



人的投資を「人材の多様性による独自性の創出」を目的とした
成長投資として戦略的に位置付け

人財戦略を支える基本方針
「社内人材の育成と能力開発」「外部専門人材の活用」「女性活躍推進」

具体的な施策

① ダイバーシティの確保

中途採用者：80%以上

女性社員割合：37.8%

女性管理職割合：27.6%



「コンテンツの多様性」を支える
「人材の多様性」を重視

② 人材育成

〈重点方針〉

人材の力を高め、コンテンツ中心の
ビジネスを追求し続ける集団への進化

「Go!Forward」戦略の3本柱

社員がチャレンジできる社内風土の強化

リーダー層のマネジメント力の強化

会社の将来を担う若手社員の成長加速

③ 社内環境整備

社員一人ひとりが持つ力を
引き出す労働環境

フレックスタイム制度

時短勤務制度

在宅勤務制度

I	会社の基本情報	P3
II	2024年8月期 第2四半期業績	P15
III	2024年8月期 計画(連結・個別)	P23
IV	基本戦略	P26
V	株主還元	P38

2024年8月期 第2四半期(連結)

売上高 **5,936百万円** (前年同期比 1.7%減↓)

営業利益 **927百万円** (前年同期比 16.4%減↓)

2024年8月期 第2四半期(個別)

売上高 **5,547百万円** (前年同期比 3.0%減↓)

営業利益 **920百万円** (前年同期比 19.4%減↓)

売上高は**5,936**百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は**927**百万円（前年同期比16.4%減）、
親会社株主に帰属する四半期純利益は**642**百万円（前年同期比15.0%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期 第2四半期 累計	2024年8月期第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な増減要因(前年同期比)
売上高	6,041 (100.0%)	5,936 (100.0%)	△1.7%	△104	5,982 (100.0%)	△0.8%	△46	
売上総利益	2,942 (48.7%)	2,768 (46.6%)	△5.9%	△174	— (—)	—%	—	(売上高)
営業利益	1,109 (18.4%)	927 (15.6%)	△16.4%	△182	826 (13.8%)	12.2%	101	・放送事業収入：△134百万円 ・その他収入：△38百万円 ・その他収入(子会社)：+68百万円
経常利益	1,109 (18.4%)	930 (15.7%)	△16.2%	△179	826 (13.8%)	12.6%	104	(売上原価) ・減価償却費：+143百万円
親会社株主に帰属 する四半期純利益	755 (12.5%)	642 (10.8%)	△15.0%	△113	570 (9.5%)	12.6%	72	

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

		2023年8月期末	2024年8月期	
			第2四半期末	前年増減額
流動資産		16,669 (67.3%)	16,977 (68.4%)	307
	固定資産	8,086 (32.7%)	7,829 (31.6%)	△256
資産合計		24,756 (100.0%)	24,807 (100.0%)	50
流動負債		2,018 (8.2%)	1,890 (7.7%)	△128
	固定負債	131 (0.6%)	131 (0.5%)	0
負債合計		2,150 (8.8%)	2,021 (8.2%)	△128
純資産合計		22,606 (91.2%)	22,785 (91.8%)	179
負債・純資産合計		24,756 (100.0%)	24,807 (100.0%)	50

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2023年8月期 第2四半期累計	2024年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	691	1,184
税金等調整前四半期純利益	1,109	930
減価償却費	160	300
売上債権の増減額(△は増加)	280	369
仕入債務の増減額(△は減少)	50	22
未払金の増減額(△は減少)	△170	△237
法人税等の支払額	△338	△234
投資キャッシュ・フロー	△799	△9
有形固定資産の取得による支出	△791	△5
財務キャッシュ・フロー	△326	△463
配当金の支払額	△355	△462
現金及び現金同等物の増減額	△434	711
現金及び現金同等物の期首残高	14,456	13,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,022	14,310

売上高は**5,547**百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は**920**百万円（前年同期比19.4%減）、
四半期純利益は**638**百万円（前年同期比19.2%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2023年8月期 第2四半期 累計	2024年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年 同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(前年同期比)
売上高	5,720 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	△172	5,731 (100.0%)	△3.2%	△183	・タイム収入の増加・・・+15百万円 ・スポット収入の減少・・・△149百万円 ・その他収入の減少・・・△38百万円
売上総利益	2,804 (49.0%)	2,577 (46.5%)	△8.1%	△227	— (—)	—%	—	(段階利益) 売上高が前年同期比減 番組関連費用・放送関連費用の 効率的使用 放送設備償却負担増等による減少
営業利益	1,141 (20.0%)	920 (16.6%)	△19.4%	△221	874 (15.2%)	5.2%	45	
経常利益	1,143 (20.0%)	924 (16.7%)	△19.2%	△219	874 (15.2%)	5.7%	50	《利益減少の具体的要因》 売上原価 ・2022年10月～2023年3月にかけて 実施したスタジオ設備更新に伴う 償却負担
四半期純利益	789 (13.8%)	638 (11.5%)	△19.2%	△151	603 (10.5%)	5.8%	35	

売上区分別実績（個別）

	2023年8月期 第2四半期累計	2024年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	5,720 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	5,731 (100.0%)	△3.2%
タイム収入	3,994 (69.8%)	4,009 (72.3%)	0.4%	4,106 (71.7%)	△2.4%
スポット収入	1,314 (23.0%)	1,164 (21.0%)	△11.4%	1,199 (20.9%)	△2.8%
その他	411 (7.2%)	373 (6.7%)	△9.3%	425 (7.4%)	△12.3%

主な増減要因(前年対比)

- **タイム収入**
通販枠の強化・拡充を行い、前年同期比+0.4%で着地
- **スポット収入**
新規取引先の開拓等、セールス活動強化により純広スポットが好調に増加した一方、引き続き市況低迷の影響により通販スポットが減少、前年同期比△11.4%
- **その他**
イベント収入が好調に推移するも、前年同期の人気アニメ作品の出資配当収入反動減により、前年同期比△9.3%

主要費用項目実績（個別）

	2023年8月期 第2四半期累計	2024年8月期 第2四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	1,867 (32.6%)	1,830 (33.0%)	△1.9%	
番組購入費	200 (3.5%)	151 (2.7%)	△24.3%	編成戦略に基づくアジアドラマの放送枠変更による減少
番組制作費	1,666 (29.1%)	1,678 (30.3%)	0.7%	
放送関連費用(原価)	321 (5.6%)	276 (5.0%)	△13.8%	
放送委託費	264 (4.6%)	254 (4.6%)	△3.9%	
技術費	56 (1.0%)	22 (0.4%)	△59.9%	前年のスタジオ設備更新に伴う費用の反動減
広告関連費用(販管費)	413 (7.2%)	406 (7.3%)	△1.7%	
広告宣伝費	387 (6.8%)	380 (6.9%)	△1.8%	
販売促進費	26 (0.5%)	26 (0.5%)	-%	

貸借対照表の概要（個別）

		2023年8月期末	2024年8月期第2四半期末		
			第2四半期	前年増減額	主な増減要因
資産	流動資産	16,103 (66.6%)	16,516 (67.8%)	412	現金及び現金同等物の増加 +658百万円
	固定資産	8,091 (33.4%)	7,835 (32.2%)	△255	スタジオ設備更新に伴う、機械装置ほか減価償却累計額の増加 △215百万円
資産合計		24,195 (100.0%)	24,352 (100.0%)	156	
負債	流動負債	1,567 (6.5%)	1,548 (6.4%)	△19	
	固定負債	127 (0.5%)	128 (0.5%)	0	
負債合計		1,694 (7.0%)	1,676 (6.9%)	△18	
純資産合計		22,501 (93.0%)	22,676 (93.1%)	174	繰越利益剰余金 +174百万円
負債・純資産合計		24,195 (100.0%)	24,352 (100.0%)	156	

I	会社の基本情報	P3
II	2024年8月期 第2四半期業績	P15
III	2024年8月期 計画(連結・個別)	P23
IV	基本戦略	P26
V	株主還元	P38

売上高は12,600百万円(前期比1.5%増)、営業利益は1,910百万円(前期比3.7%減)、

親会社株主に帰属する当期純利益は1,318百万円(前期比4.9%減)を計画

償却負担の増加等によるコスト増を見込むため前期比減益

(単位:百万円、下段は売上比)

	2023年8月期		2024年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	6,041 (100.0%)	12,417 (100.0%)	5,936 (100.0%)	△1.7%	12,600 (100.0%)	1.5%	182
営業利益	1,109 (18.4%)	1,983 (16.0%)	927 (15.6%)	△16.4%	1,910 (14.5%)	△3.7%	△73
経常利益	1,109 (18.4%)	2,015 (16.2%)	930 (15.7%)	△16.2%	1,910 (14.5%)	△5.2%	△105
親会社株主に帰属 する当期純利益	755 (12.5%)	1,386 (11.2%)	642 (10.8%)	△15.0%	1,318 (10.0%)	△4.9%	△68

売上高は11,900百万円(前期比2.4%増)、営業利益は1,900百万円(前期比3.6%減)、
当期純利益は1,311百万円を計画(前期比3.8%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2023年8月期		2024年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,720 (100.0%)	11,625 (100.0%)	5,547 (100.0%)	△3.0%	11,900 (100.0%)	2.4%	274
タイム収入	3,994 (69.8%)	8,288 (71.3%)	4,009 (72.3%)	0.4%	8,544 (71.8%)	3.1%	255
スポット収入	1,314 (23.0%)	2,563 (22.0%)	1,164 (21.0%)	△11.4%	2,457 (20.6%)	△4.1%	△106
その他	411 (7.2%)	773 (6.7%)	373 (6.7%)	△9.3%	898 (7.6%)	16.1%	125
営業利益	1,141 (20.0%)	1,970 (17.0%)	920 (16.6%)	△19.4%	1,900 (16.0%)	△3.6%	△70
経常利益	1,143 (20.0%)	1,974 (17.0%)	924 (16.7%)	△19.2%	1,900 (16.0%)	△3.8%	△74
当期純利益	789 (13.8%)	1,362 (11.7%)	638 (11.5%)	△19.2%	1,311 (11.0%)	△3.8%	△51

I	会社の基本情報	P3
II	2024年8月期 第2四半期業績	P15
III	2024年8月期 計画(連結・個別)	P23
IV	基本戦略	P26
V	株主還元	P38

知恵と知識を結集して戦略を強力に実行、
これら6つの「力」を強化・実践

「6つの力」



「6つの力」を具現化する重点施策を
新たに「Value3」と位置づけ推進



I.コンテンツ価値の最大化

➤自社制作番組

BSの視聴者層にマッチしたゆったり見られる紀行番組やコアな視聴者層向けの番組など、視聴者とクライアントのニーズに合った様々な自社制作番組をお届け

紀行・教養



毎週火曜日 よる8時～



毎週日曜日 よる9時～



毎週土曜日 よる9時～

スポーツ



毎週土・日曜日 正午～(第1部)
午後4時～(第2部)

エンタメ



毎週金曜日 よる6時～



毎週日曜日 よる10時～

報道



毎週月～金曜日 よる9時～



毎月第1週 水曜日 よる11時～

I. コンテンツ価値の最大化

➤ 大型スポーツコンテンツの獲得



中央社/共同通信イメージズ

- ➡ 話題性の高いコンテンツとして、タイムセールス・スポットセールスを牽引
- ➡ スポーツコンテンツとの親和性が高いM3層を中心に新規視聴者の獲得促進

➤ その他新規特別番組の制作



- ・新規視聴者の獲得や更なる視聴率の獲得に向けた起爆剤的役割
- ・新規広告主の獲得や休眠広告主の出稿獲得といったセールス強化の役割
- ・テレビ放送後のアーカイブ配信の実施等、配信コンテンツの拡充へ繋げる

I. コンテンツ価値の最大化

➤ コラボレーション施策

京都関連の紀行番組2番組を京都のローカル局を含む他局と共同で制作



制作著作 KBS京都/BS11



© KBS京都 / TOKYO MX / BS11

- ➡ 他局で放送中の京都紀行番組との差別化を実現
- ➡ 質の高い内容の番組を通常より安価で制作可能に
- ➡ 共同でのイベント展開や京都関連の特別番組の共同制作など新施策展開へ

四季に応じた特別番組を共同制作



制作著作 KBS京都/BS11



制作著作 KBS京都/BS11

共同で番組関連イベントを実施



動画配信サービスを展開する株U-NEXTと協業



© JTBC studios & Jcontenttree corp All rights reserved

- ➡ ドラマ・スポーツジャンルを中心としたコンテンツの拡充
- ➡ 効率的な費用投下によるコンテンツの制作

I. コンテンツ価値の最大化

➤ コンテンツの調達



©共同テレビジョン 原作:山崎豊子「白い巨塔」(新潮文庫刊)

国内ドラマ



© Horgos Xinghao Film and Television Co. LTD. All Rights Reserved.

中国時代劇



© 1990「天と地と」製作委員会

映画



© Benesse Corporation 1988-2015/しまじろう

アニメ



ヨーロッパミステリー



©SBS

韓国ドラマ



© 2024 Warner Bros. Discovery, Inc. or its subsidiaries and affiliates. All rights reserved.

ディスカバリーコンテンツ



© 2020 World Wonder Ring STARDOM, All rights reserved.

スポーツ



当社のメイン視聴者層であるM3/F3層、M4/F4層の視聴傾向が強いドラマや映画コンテンツ、幅広い層に人気のあるディスカバリーコンテンツやアニメ作品、スポーツコンテンツを編成

Ⅲ.放送周辺事業の強化と発展

➤アニメ関連施策(アニメ関連番組の放送)

《製作委員会への出資作品(2023年10月～2024年2月)》



©春原ロビンソン・ひらけい/集英社・国王軍第三騎士団



©向日葵・高上優里子/双葉社・もふなで製作委員会



©藤孝剛志/アース・スター エンターテイメント
/即死チート製作委員会



©佐竹幸典・講談社/「魔女と野獣」製作委員会



計 **18** 作品に参加

➡開局来のアニメ作品の放送を継続し、「アニメのBS11」として認知が拡大

➡アニソンやアニメ関連のエンタメをテーマにした番組を放送することで、アニメファンの囲い込みを図る

III.放送周辺事業の強化と発展

➤アニメ関連施策(イベントへの出展等)

全国各地のアニメイベントへの出展

・マチ★アソビvol.27 開催地:徳島県徳島市



©めいびい/SQUARE ENIX「結婚指輪物語」製作委員会



©春原ロビンソン・ひらけい/集英社・国王軍第三騎士団

・北九州ポップカルチャーフェス 開催地:福岡県北九州市

KPPF2023
北九州ポップカルチャーフェスティバル2023



➡全国一歩というBSの強みを活かした、地方のアニメファンの認知を拡大

➡激化するアニメ制作委員会への参画競争に対応すべく、各委員会へ当社が参画した場合の付加価値をPRする機会として活用

アニメイベントの主催

・Animelo Summer Live2023 -AXEL- 開催地:さいたまスーパーアリーナ

2021年より3年連続で主催として開催したアニソンイベント

18回目を迎える今回は、3日間のイベントで延べ65,000人を動員

➡視聴者・クライアントに対して、アニメに親和性のある局としての認知を拡大



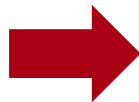
© Animelo Summer Live 2023

Ⅲ.放送周辺事業の強化と発展

➤コンテンツのマルチ展開

BS11

放送コンテンツ



○関連グッズの企画・販売

BS11 SHOP



じゅういっちゃん 今治タオル ハンカチ



太田和彦さん監修酒器



太田和彦さん描き下ろし書籍掲載用
イラスト使用でめぐい

この他、番組関連グッズやBS11オリジナルグッズを多数販売中

○自社PFでの配信

BS11+

○外部PFでの配信



○記事サイトの活用

BS11+ トピックス

自社配信PF「BS11+」で配信するコンテンツを記事化して、コンテンツの魅力を発信するサイト「BS11+トピックス」を開設。

➡記事サイトからBS11+へのサイト訪問効果は開設当初から5倍以上に

➡引き続き放送事業を収益の軸としながらデジタル分野の収益を拡大

➡若年層を中心とした新規視聴者とのタッチポイントを増やす

➡企画段階で多面的な展開を視野に入れたコンテンツ制作力の強化

Ⅲ.放送周辺事業の強化と発展

➤配信の取り組み

BS11
放送コンテンツ



○自社PFでの配信

BS11 

- ・放送した番組の見逃し配信
- ・月額見放題プランでのアーカイブ配信

○外部PFでの配信

 **YouTube** 登録者数：約27万人
※BS局ナンバーワン

 **U-NEXT**

  **VideoMarket**
ビデオマーケット

主な配信コンテンツ



© Horgos Xinghao Film and Television Co. LTD. All Rights Reserved.



Ⅲ.放送周辺事業の強化と発展

Ⅰ. イベントの推進

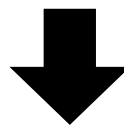
リアル・オンラインイベント



公開収録



(株)文化放送との協業



- ・各番組の視聴者と出演者との交流をはじめとした直接的なタッチポイントの創出
- ・他社・他局と共同でイベントを開催することで、効率的なコスト投下によるイベント開催を実現
- ・イベント開催を視野に入れた番組の企画、コンテンツの多面的な展開による収益拡大

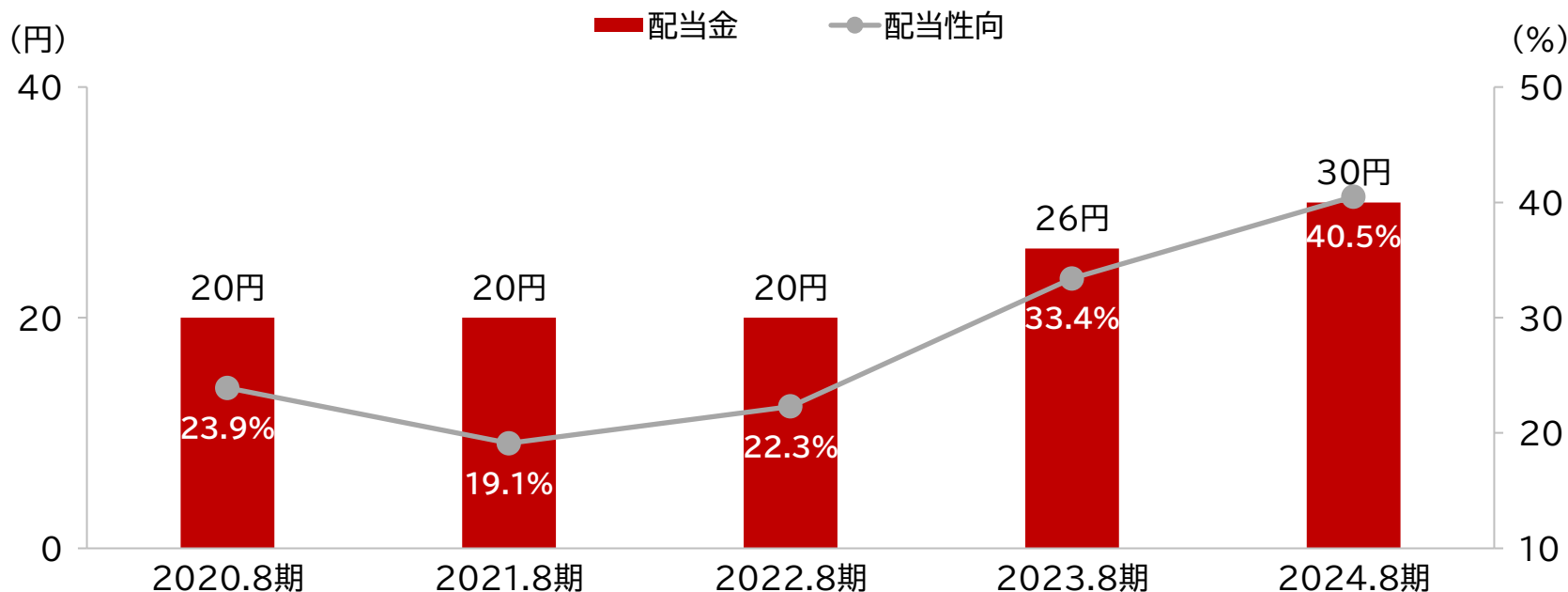
I	会社の基本情報	P3
II	2024年8月期 第2四半期業績	P15
III	2024年8月期 計画(連結・個別)	P23
IV	基本戦略	P26
V	株主還元	P38

2024年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

～2024年8月期の1株当たり配当額を前期より4円引き上げ～

配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。



- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

